

神奈川県内科医学会 「健康長寿社会を目指す委員会」講演会

第1回 「宗教から学ぶ死生観」

来る2025年からの「多死社会」を目前に控え、当委員会では医療者だけではなく社会全体の死生観を培うために講演会や市民公開講座を開いてまいりました。今回は、医師個人を対象としたオンライン講演会を企画しています。

我々が有する死生観とは、今まで生きてきたなかでの知識や経験に基づくところが大勢を占めますが、その中核には日本古来からの宗教観や仏教・キリスト教に由来する宗教理念が骨組みをなしていると考えます。もう一度基本に立ち戻り、自分たちの死生観を見つめなおしてみませんか。

今回の企画では、3回シリーズとしてカトリックの神父、仏教の住職、神道の神職をお呼びして、それぞれの宗派における死の受け止め方やスピリチュアル・ケアなどをご伝授いただきます。初回は、カトリック教会の司祭であり、聖マリアンナ医科大学病院の宗教主事もされている小田武彦神父からご講演をいただきます。

令和3年7月13日（火）19：30～20：30
ZoomによるWeb配信

「カトリック信者にとっての『幸い』と『死』」

カトリック溝ノ口教会 司祭 ・聖マリアンナ医科大学病院 宗教主事

小田武彦 神父

.....

参加方法

参加希望者は**7月6日(火)**までに、下記登録フォームまたはQRコードよりお申込みください。

<https://forms.gle/EzhtBzxbg7uR1iN17>



登録完了された方には、開催日の前週までに、参加窓口となるURLをお送りします。当日は開催時間の10分前よりこのURLからアクセス可能となります。なお参加者を把握するため、ズーム設定のなかで「お名前」の表示をお願いします。また当日は初期設定として、マイク・ビデオはOFFにしてご参加ください。質疑応答の時間になったら、ご質問のある方は、挙手のマークまたはご自身のマイク・ビデオをONにして声かけや実際の挙手をお願いします。